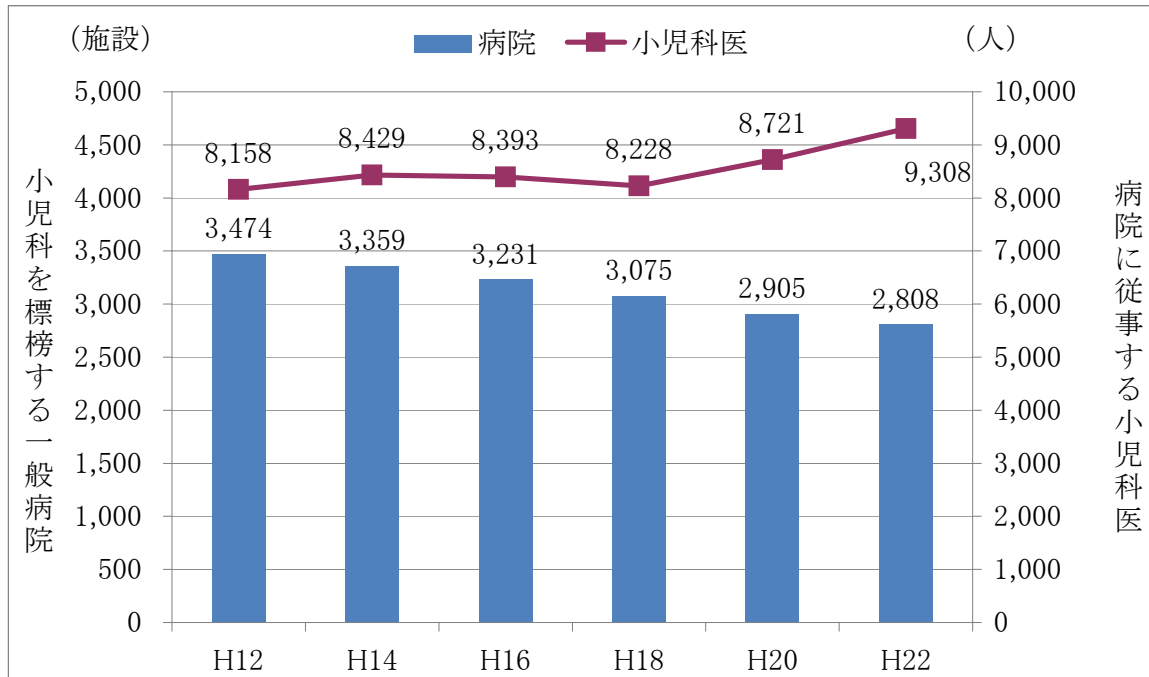


病院小児科の状況

(1) 「小児科を標榜する一般病院」と「病院に従事する小児科医」の年次推移

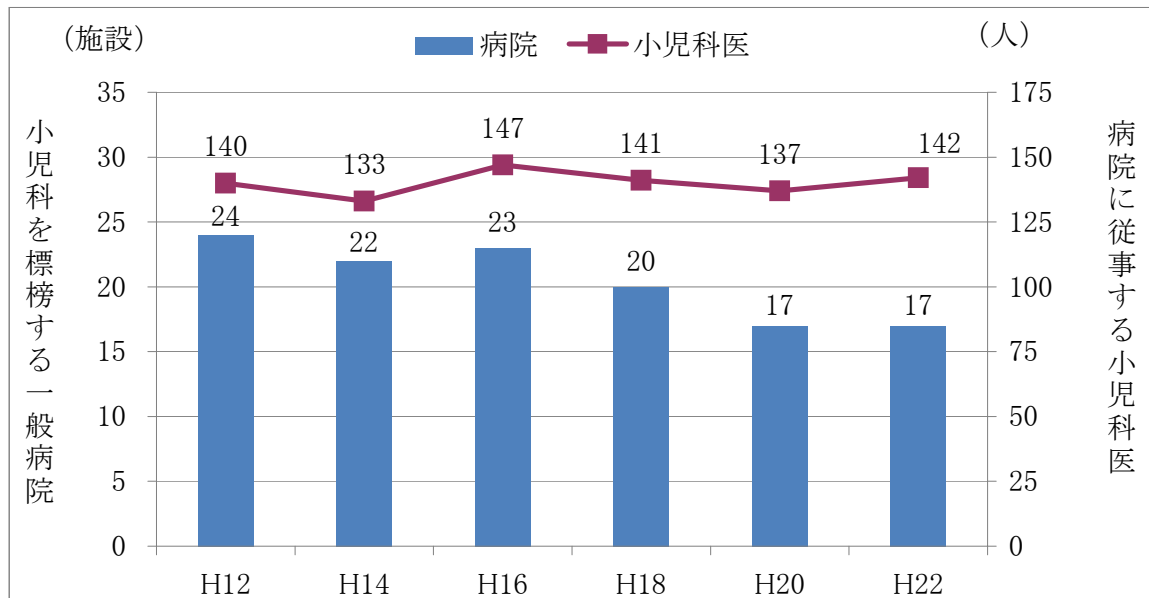
① 全国



※ 厚生労働省「医療施設調査」「医師・歯科医師・薬剤師調査」を基に事務局が作成

※ 「一般病院」とは、医療施設調査の定義に基づき、「精神科病院(精神病床のみを有する病院)、結核療養所(結核病床のみを有する病院)以外の病院」をいう。

② 福岡市



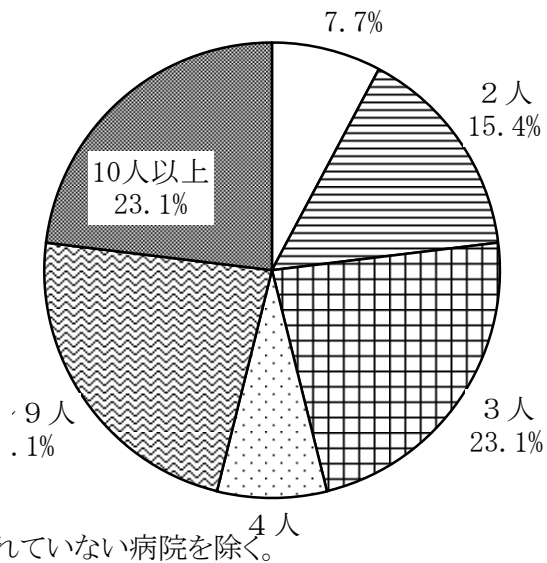
※ 厚生労働省「医療施設調査」「医師・歯科医師・薬剤師調査」を基に事務局が作成

※ 「一般病院」とは、医療施設調査の定義に基づき、「精神科病院(精神病床のみを有する病院)、結核療養所(結核病床のみを有する病院)以外の病院」をいう。

- 全国では、「小児科を標榜する一般病院」が年々減少している一方、「病院に従事する小児科医」は増加傾向といえる。
- 福岡市では、「小児科を標榜する一般病院」が減少傾向である一方、「病院に従事する小児科医」は年によって多少増減はあるものの、ほぼ横ばい状態といえる。

(2) 福岡市における小児科常勤医師数別の病院数 (平成24年1月1日現在)

小児科の常勤医師数	病院数
1人	1施設
2人	2施設
3人	3施設
4人	1施設
5～9人	3施設
10人以上	3施設
計	13施設



※入院患者をほとんど受け入れていない病院を除く。

- 福岡市では、小児科を有する病院(入院患者をほとんど受け入れていない病院を除く) 13施設のうち、小児科常勤医師数が3人以下の病院は半分弱の6施設ある一方、小児科常勤医師数が10人以上の病院も約1/4の3施設ある。